蓄熱式電気暖房器“アルディ”

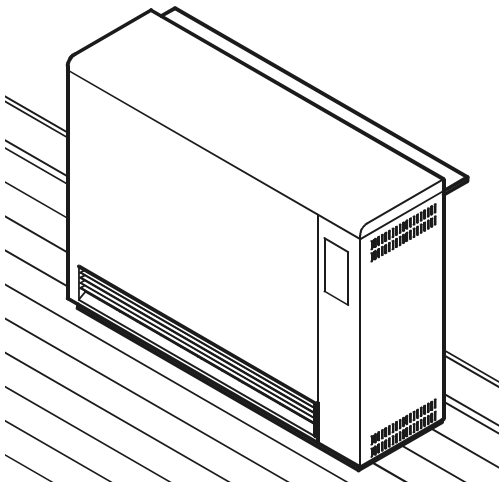
設置工事業者さま⇒お客さま

RDB-4030 シリーズ 取扱・設置説明書

保証書付き

もくじ

はじめに…… 1
安全にお使いいただくために…… 1
必ず守っていただきたいこと…… 2
暖房の方法と特長…… 3
各部の名称…… 4
操作パネルの名称と働き…… 5
使用方法
　電源…… 5
　基本的な使い方
　　現在時刻のセット…… 6
　　蓄熱量の選び方…… 6
　　通常暖房…… 7
　便利な使い方
　　予約暖房…… 8
　　蓄熱増し…… 9
　　チャイルドロック…… 9
日常のお手入れ…… 9
こんな時には……11
シーズンオフ、インにつきまして……11
設置方法
開こん……12
　設置の前に……12
　壁固定金具の取付……13
　床固定用ネジの取付……15
　組立準備……16
　蓄熱ブロックの組込み……19
　断熱材の組込み……20
　電源ケーブルの接続……21
　配線工事後の点検……22
　室温センサーの設置……23
　本体の設置……24
　設置後のファン清掃……24
仕様……25
電気配線図……26
アフターサービスおよび保証……26
保証書……裏表紙



●このたびは本品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
●お使いになる前に、この取扱・設置説明書をよく読み理解されてからご使用ください。
●とくに警告事項は、人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されているので必ずよく理解されてからご使用ください。
●設置工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。間違った工事は故障や事故の原因になります。
●設置工事を行う前に、この取扱・設置説明書をよく読み理解されてから行ってください。

株式会社 白山製作所
HAKUSAN MFG

70B30484-5

はじめに

この説明書は、蓄熱式電気暖房器“ アルディ ”をご使用いただくためのガイドブックです。
アルディを初めてお使いになる方はもちろん、すでにお使いいただいている方にも知識や経験を再確認する上で、お役に立つものと考えております。この説明書をお読みになり、内容をよく理解された上で本製品をご使用くださるようお願いいたします。また、この説明書は、本製品をご使用になる近くのきめられた場所に置いて、いつでもご覧になれるようにし、本製品をご使用になるようお願いいたします。

アルディの設計内容に関する研究・改良の結果、この説明書の内容に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品または、この説明書の内容につきましてご質問がありましたら弊社までお問い合わせください。

★暖房シーズンに入る前や長時間停電直後は、取扱説明書にしたがって必ず時刻を合わせてください。
★本製品は「マイコン制御割引認定品」になっておりますので、必ず最寄りの電力会社にお届けいただき、手続きを行ってください。
お届けがない場合には、割引が適用されないことがあります。（割引制度の有無および割引率は各電力会社により異なりますのでご注意ください）

安全にお使いいただくために

絵表示について

この説明書および本製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

必ず守っていただきたいこと

⚠警告

●外装パネルは、絶対にはずさないでください。
内部に触ると感電する恐れがあります。

●暖房器表面や温風吹出口は、高温になりますので触らないでください。
やけどする恐れがあります。特にお子さまを暖房器に近づけないでください。

●温風に長時間あたらないでください。
脱水状態になったり、低温やけどになったりする恐れがあります。
特に小さいお子さま・お年寄りにはまわりの人が注意してあげてください。

●危険物（ガソリン・シンナー・スプレー缶など）を暖房器の周囲や、温風のあたるところに絶対に置かないでください。
爆発や火災の危険があります。

●地震のときは決して暖房器の周囲に近づかないでください。

⚠注意

●200V電源ケーブル・100V電源コードの上に重い物を絶対にのせないでください。
火災や感電の原因になり危険です。

●暖房器内部に異物を入れないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

●カーテンや燃えやすい物のそばなどでは、使用しないでください。また洗濯物の乾燥に使用しないでください。
火災や変色の原因になります。

●暖房器の上に物を（かびん・洗濯物など）を絶対にのせないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

●アルディは居室の暖房用として作られています。乾燥室、温室、風呂場など特殊な場所、違う用途では絶対に使用しないでください。

●長期間ご使用にならない時は、必ず100V電源プラグをコンセントから抜いて、配電盤の200V電源（ブレーカー）を切ってください。

●万が一異常を感じた場合は、電源（100V、200V）を切ってください。

●棚下設置の場合、天板に温度や乾燥により、そり・ひび割れ・変形などが発生する場合があります。天板裏面に遮蔽材を貼り付けるなど、予防措置を講じてお使いください。

●万が一転倒した場合、転倒センサーの作動により電源が遮断されますが念のためにお手を触れずに電源をお切りください。

100V電源プラグ、および配電盤の200V電源（ブレーカー）を切ってください。
また、すみやかに販売店さま、または工事店さまにご連絡ください。

暖房の方法と特長

各電力会社では、夜間の電力使用量を増やし電力負荷の平準化を図るために夜間時間帯に供給する電力の低価格化を実施しています。
夜間時間帯とは・・・

８時間契約の場合、深夜１１時から　翌朝７時までの　８時間　が夜間時間帯です。

１０時間契約の場合、深夜１０時から　翌朝８時までの１０時間　が夜間時間帯です。

※地域によって異なる場合があります。

アルディは、この割安な夜間時間帯の電力を利用して、蓄熱ブロックにたっぷりと熱を蓄え、昼間必要に応じてこの熱を少しずつ取り出して効率よく暖房する、経済性と省力化を考えた蓄熱式電気暖房器です。
暖房器表面からの自然放熱（輻射熱）により、夜間や朝早く起きたとき、また外出から戻ったときも室温をある程度維持しているため、とても心地よい暖房感が得られます。

“ アルディ ”の主な特長は

● **電気暖房だから安全で衛生的**
火を使わないので火事の危険が少なく、しかも部屋の空気を汚しません。

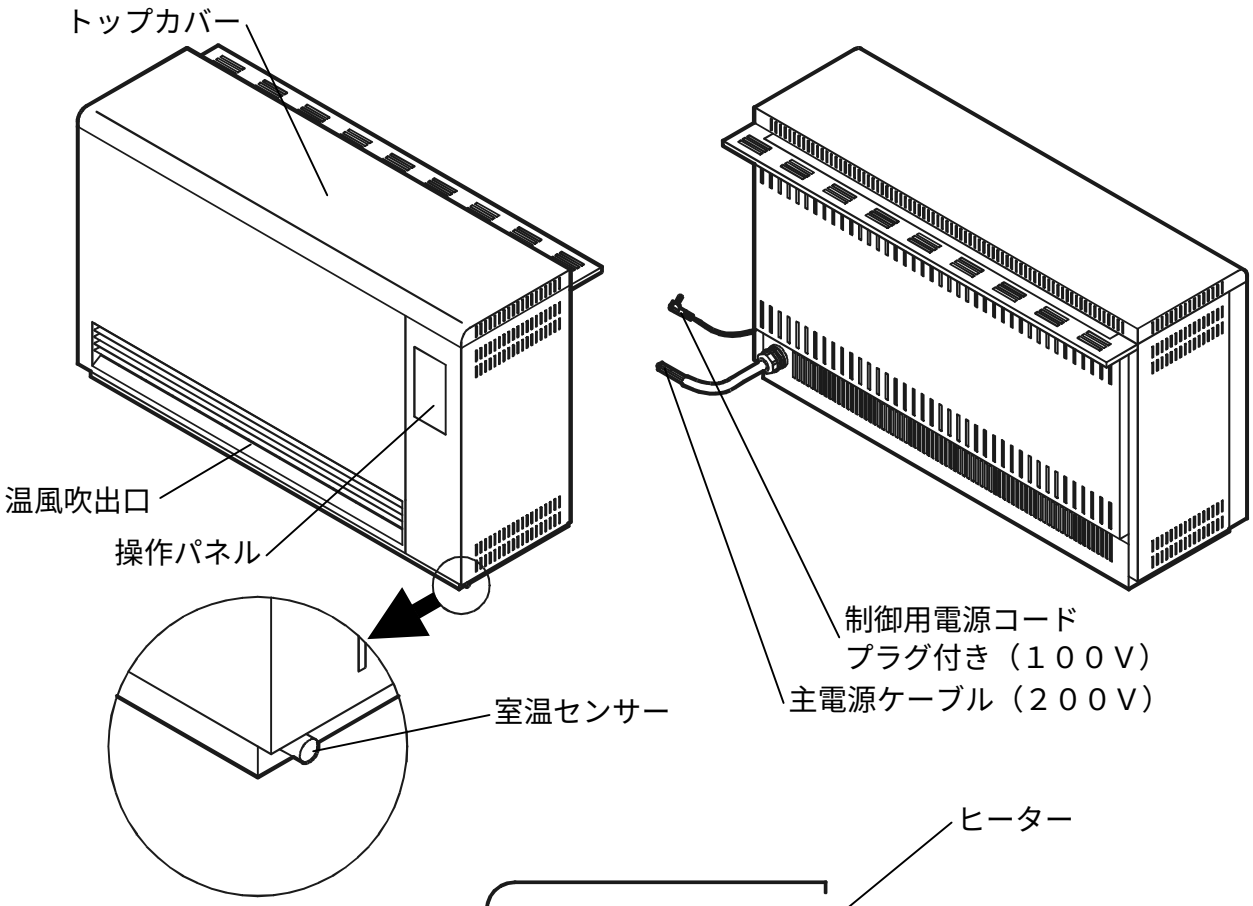
● **電気暖房だから手間入らず**
燃料の補給・貯蔵が不要で、しかも電気は安定供給が得られるエネルギーです。

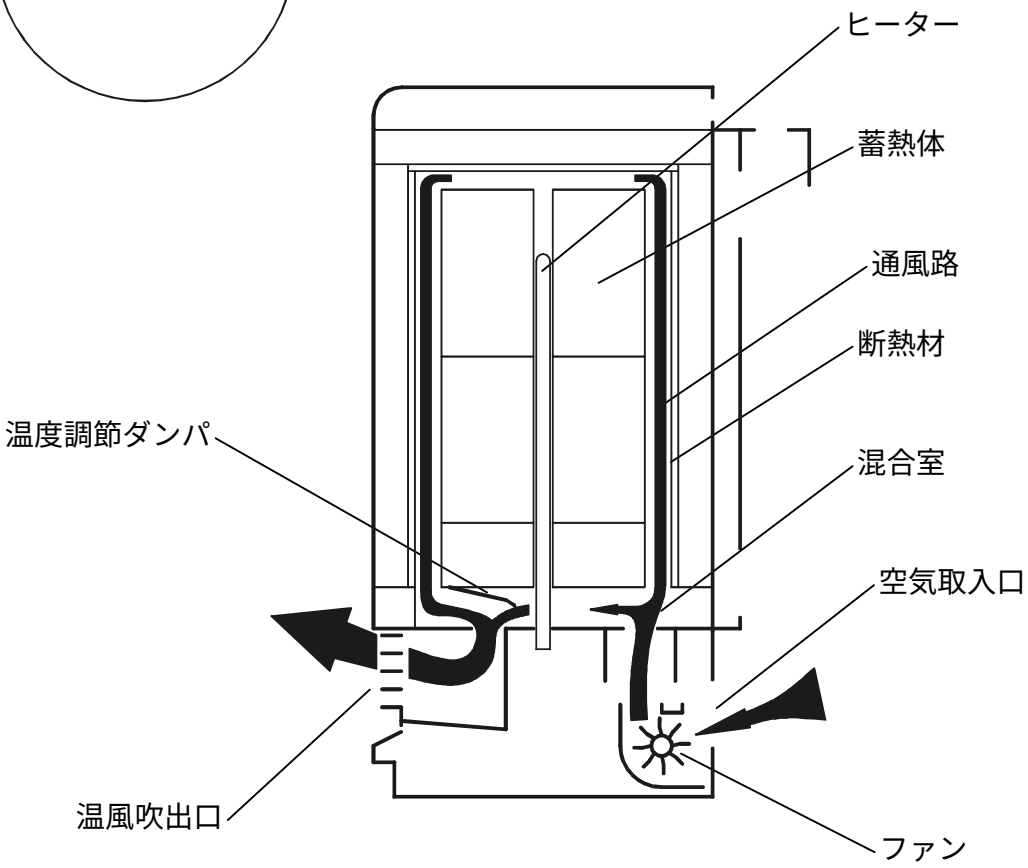
● **丈夫で長持ち、優れた耐久性**
燃焼式暖房器に比べ構造が簡単、約２倍以上の耐久性があります。

● **マイコン制御で節電蓄熱**
朝７時を目安に蓄熱が終わるよう節電通電を行い電気代のムダをなくします。

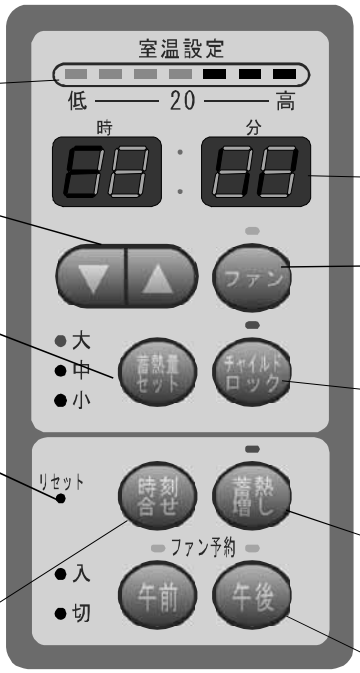
● **蓄熱増しで安心暖房**（お客さまの電気契約により異なります）
蓄熱量が残り少なくなった場合、蓄熱増しにより快適な暖かさを確保します。

各部の名称


トップカバー
温風吹出口
操作パネル
室温センサー
制御用電源コード
プラグ付き（１００Ｖ）
主電源ケーブル（２００Ｖ）


ヒーター
蓄熱体
通風路
断熱材
混合室
空気取入口
温度調節ダンパ
温風吹出口
ファン

操作パネルの名称と働き



室温設定ランプ
室温の設定を表示します。

室温・時刻設定ボタン
温度の設定や、時刻合せをするときに使います。

蓄熱量セットボタン・ランプ
蓄熱量を切り換えるときに使います。

リセット
マイコンがリセットされます。先のとがったもので押します。

時刻合せボタン
時刻を合わせるときに押します。時刻がずれると昼間の電気を使用して蓄熱する可能性があります。

時刻表示（２４時間表示）
通常、現在時刻を表示しています。ファン予約設定中は、「入時刻」「切時刻」を表示します。

ファンボタン・ランプ
ファン運転を行います。

チャイルドロックボタン・ランプ
全ての操作ボタンをロックして操作できないようにします。

蓄熱増しボタン・ランプ
昼間、蓄熱量が足りなくなったとき、昼間の電気を使用して蓄熱します。

ファン予約ボタン・ランプ
ファンの予約運転を行うときに使います。

使用方法

電　源

（1）電源は、蓄熱用の主電源（２００Ｖ）と制御用電源（１００Ｖ）の２系統を給電します。

（2）２００Ｖの電源ブレーカーを入れます。

（3）暖房器の制御用電源プラグを室内の１００Ｖコンセントに差し込みます。

ランプ記号の見かた

ランプ記号の意味は次のとおりです。

ファン や ●入 は点灯を意味します。

ファン や ○入 は消灯を意味します。

基本的な使い方

（1）現在時刻のセット

シーズンの初めなどに時刻が合っていない場合にセットします。

① 時刻合せ を押すとデジタル表示 時 00 : 分 00 が点滅します。

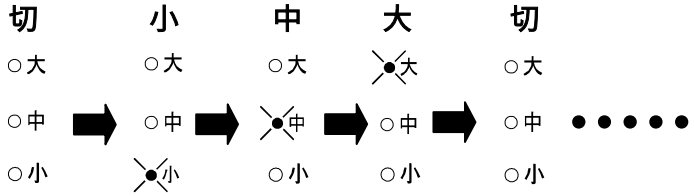
②時刻を進めるときは ▲ を、遅らせるときは ▼ を押します。

③再度 時刻合せ を押すと時刻が確定します。

ポイント！

●時刻は２４時間表示です。
●シーズンの初めには必ず時刻合せを行ってください。

（2）蓄熱量の選び方



① 蓄熱量セット を押すたびに、

と切り替わりますので、いずれかを選択します 「切」の場合は点灯しません

使用例	大	寒い毎日が続く頃
	中	日中もときどき暖房がほしい頃
	小	秋の終わりや春先など朝晩の暖房がほしい頃
	切	長期間にわたり留守にする場合

●長期の留守（１週間以上）の場合は「切」にして蓄熱を停止させた方が経済的ですが、短期外泊時などでは、室内のベース温度を保つために蓄熱を継続することをおすすめします。

●初めて使用する場合や長期間運転を停止した後で再び使用する場合には、初日は「小」にセットします。これは蓄熱ブロックなどの内部の湿気を徐々に取り除くための操作です。

ポイント！

操作パネルランプの明るさについて
操作パネルの各ランプは、操作しない状態が３０分続くと自動的に明るさが落ちます。
ボタン操作をすると再びもとの明るさに戻ります。

（3）通常暖房

機器内部に蓄えられた“熱”により機器表面から“自然放熱”［表面があたたかくなる］を行って室内のベース暖房をします。

さらに、効率的に“熱”を取り出すために、ファン運転による暖房も行えます。

ファン運転をする

① (ファン) ボタンを押して (ファン) にします。

②温度を調節する

室温設定ボタンを押すと、室温設定ランプが１つずつ点灯／消灯します。

ランプ１つで約３℃変化します。

室温設定を上げるときは [▲] ボタンを押します。

室温設定を下げるときは [▼] ボタンを押します。

③ファン運転を止めるときは

(ファン) ボタンを押して (ファン) にします。

④送風 Ｌｏ／Ｈｉ／Ａｕｔｏ の切り替え操作

(ファン) ボタンを３秒以上長押しすると、送風モードの切り替えができます。

切り替え時に設定されたモードを３秒間点滅表示します。

送風「Ｌｏ」モード　送風「Ｈｉ」モード　送風「Ａｕｔｏ」モード

●送風「Ｌｏ」モード

「弱風」で送風します。お部屋の温度が室温設定より高くなると送風を停止します。

★出荷時はこのモードに設定してあります。

●送風「Ｈｉ」モード

「強風」で送風します。お部屋の温度が室温設定より高くなると送風を停止します。

●送風「Ａｕｔｏ」モード

お部屋の温度と室温設定の温度差により「弱風」「強風」を自動的に切り替えて送風します。お部屋の温度が室温設定より高くなると送風を停止します。

ポイント！

●お部屋の温度が室温設定より高くなると (ファン) の状態でもファンは自動的に止まります。

●お部屋の温度が室温設定より１℃～４℃低いとファンは低速で回転します。５℃以上低くなるとファンは高速で回転します。

便利な使い方

（４）予約暖房

★ファンの予約運転ができます。

★午前(0時～12時)予約１回・午後(12時～24時)予約１回、朝夕２回の予約できます。

★最短1分間から、1分刻みで予約できます。

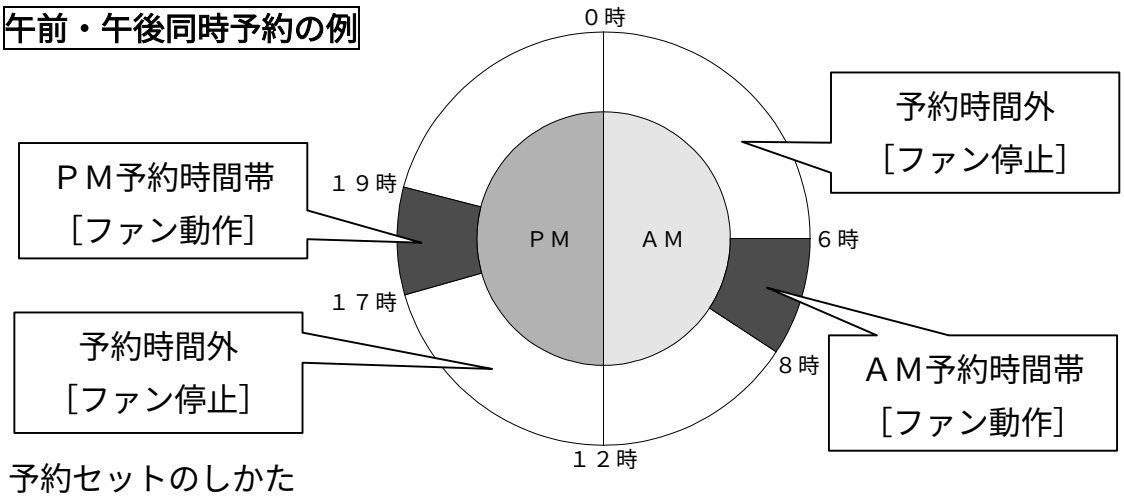
★午前だけ、午後だけでも予約できます。

★予約中でも「ファン」ボタンをＯＮすると、予約を解除してファンが動きます。

★「ファン」をＯＦＦすることで予約暖房に戻ります。

★一度セットした予約内容は変更しない限り、電源を切っても記憶しています。

午前・午後同時予約の例



予約セットのしかた

〈午前予約〉するときは

① 午前 ボタンを押すと 入 が点灯し、 時 05 : 分 00 が点滅しますので、

▼ ▲ ボタンでご希望の入時刻にします。

② 午前 ボタンを押すと 切 が点灯し、 時 08 : 分 30 が点滅しますので、

同じように ▼ ▲ ボタンでご希望の切時刻にします。

③ 午前 ボタンを押して 午前 となれば午前の予約完了です。

④午後予約も午前と同じように、 午後 を押して予約します。

午前 午後 を押すと消灯し、予約解除になります。

（5）蓄熱増し暖房

蓄熱増しによる暖房を行うには、

ボタンを押して

にします。

ポイント！

●蓄熱増し暖房は３時間を越えると終了音が鳴り自動的に停止します。
再度、蓄熱増し暖房を行いたい場合は、もう一度操作を行ってください。

●蓄熱増し暖房を行える時間帯は朝７時から当日深夜１１時の間だけです。
深夜１１時から翌朝７時の蓄熱時間帯は蓄熱増し暖房はできません。

●蓄熱量が設定に達すると自動的に停止します。
再度、蓄熱増し暖房を行いたい場合は、蓄熱量設定をあげて、もう一度操作を行ってください。設定“大”以上の蓄熱増し暖房は行えません。

●蓄熱増し暖房はお客さまと電力会社さまとの電気契約および配線の方法により行えない場合がございます。詳しくは販売店さまにご相談ください。

（6）チャイルドロック

小さいお子さまがいるご家庭や学校などの公共施設でご使用される場合は、下記の操作によりチャイルドロックができます。

① ロックする場合は、

ボタンを３秒間押し

にします。

確認音が鳴りロックします。

② 解除する場合は、

ボタンを３秒間押し

にします。

確認音が鳴りロックを解除します。

日常のお手入れ

（1）本体の汚れを拭き取ってください。

汚れがひどい場合は、蓄熱量セットを「切」にして本体表面が冷えてから中性洗剤を使って拭き取ってください。ベンジン・シンナーなどは使用しないでください。

（2）ほこりを取り除いてください。

暖房器が冷えたのを確認して、電源（１００Ｖ、２００Ｖ）を必ず切ってください。掃除機などで暖房器本体と壁の間のごみ・ほこりを取り除いてください。掃除が終わったら電源を入れてください。

⚠注意

吹出口まわりの清掃はファンの寿命を延ばしますが、内部の清掃はかならず設置工事店さま・販売店さままたは専門の工事店さまにご依頼ください。感電・やけどなどをする可能性があります。

こんな時には

状況	予想される原因	処　置
表示しない	１００Ｖ電源が停電､又はコンセントが外れている	１００Ｖ電源・コンセントを確認。
	マイコンが暴走している	リセットスイッチを押す。
蓄熱しない 蓄熱が 足りない	蓄熱量セットが「切」になっている	蓄熱量をセット。
	深夜電力の停電	電力会社へご連絡ください。
	電力会社設置のタイマーが故障	
	１００Ｖ電源が停電､又はコンセントが外れている	１００Ｖ電源を確認。
温風が出ない	室温センサーが断線､又はショートしている	断線・ショート個所を切って再接続。
	ファンに異物が入り回らない	ブロックのかけらなどが入っている場合は取り除く。
ボコッなどと音がする	金属のフレーム類などが膨張･収縮して音が出ている	ファン運転の前後、金属の膨張・収縮によって音が出る場合がありますが、異常ではありません。
Ｅ０００表示	ディップスイッチ設定エラー	取扱店にご連絡願います。
Ｅ００１表示	裏面の空気取入口がゴミなどでふさがっている	制御部の温度が上がっています。ごみや物を除去、壁との距離を開けてチャイルドロックボタンを押してください。
	本体上に物が載っている	
	後壁又は上壁の隙間が足りない	
Ｅ００３又は **Ｅ００４**表示	吹出口を塞いでいる	温風の温度が上昇しています。吹出口をふさいでいるものを取り除き、チャイルドロックボタンを押してください。
Ｅ００５表示	片側のファンが停止している	蓄熱量が左右でばらついています。吹出口をふさいでいるものを取り除き、チャイルドロックボタンを押してください。ファンが停止している場合、または２００Ｖ電流値が異常な場合、修理が必要ですので、取扱店に連絡してください。
	ヒーターが切れている	
Ｅ００６表示	本体が転倒した	振動を検出しました。チャイルドロックボタンを押すと復帰します。転倒した場合、取扱店に連絡してください。
	地震などで本体が大きく振動した	
Ｅ００７表示	２００Ｖブレーカーが０Ｆ Ｆになっている	蓄熱量がセットされ、蓄熱しているのに、温度が上がっていません。２００Ｖ電源が供給されているか確認し、チャイルドロックボタンを押してください。解決しない場合、取扱店に連絡してください。
	蓄熱センサーが外れている	
Ｅ００８表示	異常過熱状態	すぐに配電盤の２００Ｖブレーカーをお切りになり、取扱店にご連絡願います。

ポイント！

●エラー音・エラー表示の解除は （チャイルドロック） ボタンを押してください。

●室温を確認したいときは （ファン） の状態で ▲ を３秒間長押ししてください。

シーズンオフ、シーズンインにつきまして

（1）シーズンオフ

２００Ｖ電源ブレーカーをＯＦＦにする場合、必ず操作パネルの「蓄熱量セット」を“切”の状態にしてください。先に電源ブレーカーをＯＦＦにして、“入”状態のままにしますとエラーが発生します。

（2）シーズンイン

２００Ｖ電源ブレーカーをＯＮにしてから、操作パネルの「蓄熱量セット」で“入”状態にしてください。またシーズン初めには必ず時刻合わせを行ってください。

設置方法

開こん

下記付属品が入っています。
①取扱・設置説明書　１冊
②壁固定金具

機　　種	ＲＤＢシリーズ
転倒防止金具	３個
壁取付金具	３個
壁取付ネジ（木ネジ）	木ネジ（４.１×３２Ｌ）１２本
金具固定用ネジ＆ナット	十字穴付トラストネジＭ４×８・六角ナットＭ４　３セット
床固定ネジ	±六角座付タッピンネジ（６×２５Ｌ）　４本

③蓄熱ブロック（別梱包）

機　　種	ＲＤＢシリーズ	
	４０３０	５０３０
数　　量	２４	２８

設置の前に

⚠注意

●床の強度を確認してください。
故障の原因、本体や床変形の原因になります。
また、じゅうたんや畳、波打った床などでは厚さ１０mm以上の敷板を敷いてください。

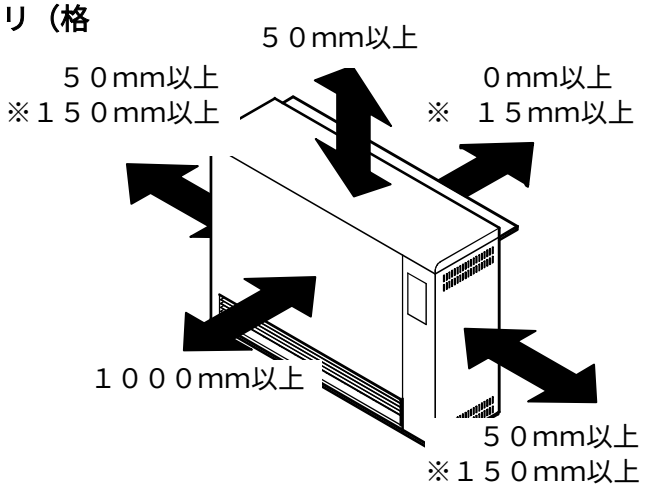
●カーテンや燃えやすい物のそばなどには設置しないでください。
火災や変色の原因になります。

●ガソリン・灯油・シンナー・ベンジンなど揮発油を取り扱う場所には設置しないでください。
火災や爆発の原因になります。

●温風吹出口前方（１m以内）にがラリ（格子）を取り付けないでください。
火災の原因になります。

●右図の寸法の空間がない場所に設置しないでください。
火災、故障の原因になります。

●カウンター下や壁等に埋め込んで設置する場合は、※に示す離隔距離を空けてください。
暖房器の熱が十分に放熱されず熱がこもり、周辺材の反りやたわみ、火災、故障の原因になります。



※上部・左右側の離隔距離は１５０mm以上空けてください。後方の離隔距離についてはP.14 転倒防止金具の差込位置についての項をご覧ください。

●アルディは居室の暖房用として作られた物です。乾燥室、温室、風呂場など特殊な場所に設置しないでください。
故障、感電の原因になります。
●特殊な環境には設置しないでください。
温泉、塩害、大気汚染による腐食の恐れがあるところ。化学薬品を使用する場所。
故障の原因になります。
●２台以上設置するときは、間隔を１m以上開けてください。
エラー、故障の原因になります。

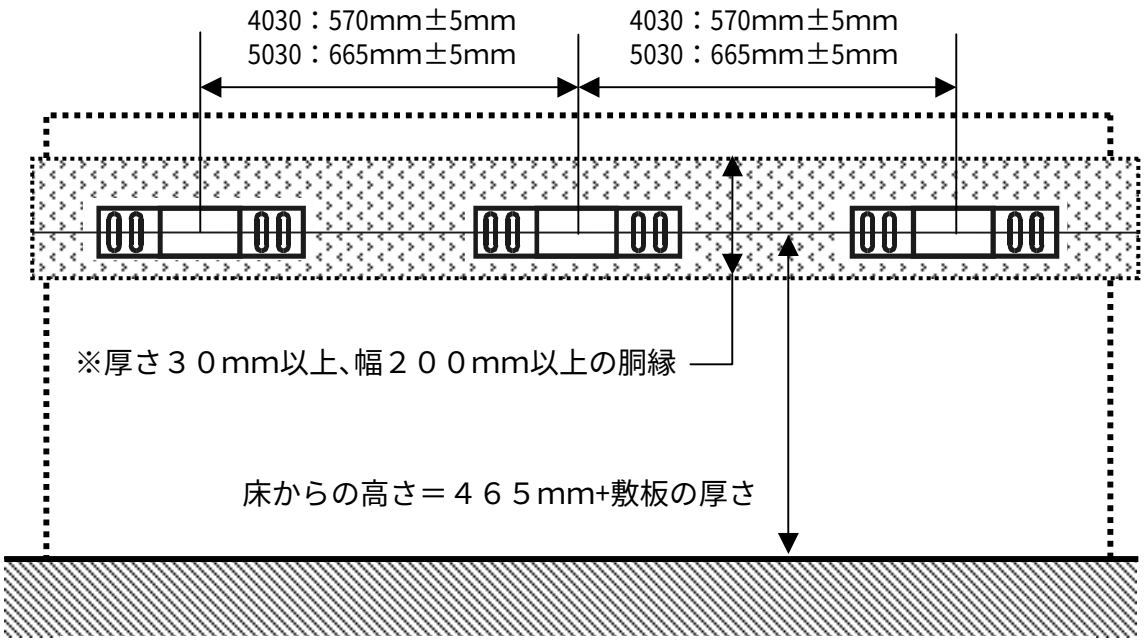
壁固定金具の取付

⚠警告

●壁固定金具は必ず取り付けてください。
地震の際、転倒する場合があります。
床固定もあわせて行えば、さらに安全性が向上し安心です。
●壁固定金具取付け個所の補強工事（壁面）が必要です。
壁固定金具の効果を十分に発揮させるためには壁面の胴縁の厚みが３０mm以上、胴縁への木ネジのねじ込み長さが２０mm以上必要ですので木ネジ長さは「壁面のボードの厚さ＋２０mm以上」（添付木ネジサイズ 4.1×32L）を用いてください。

壁取付金具取付位置

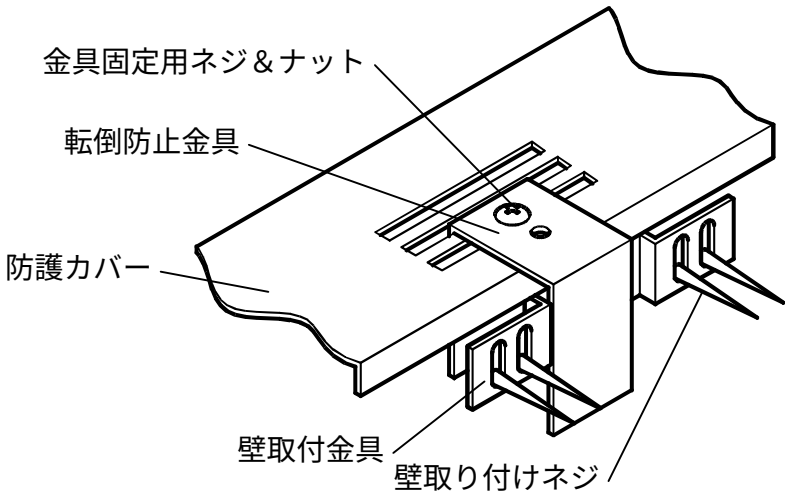
設置する前にあらかじめ設置位置の壁に壁取付金具を下図の寸法で取り付けます。



※胴縁の寸法は、平成１５年実施の耐震試験による「暖房器設置場所の推奨構造」によるものです。

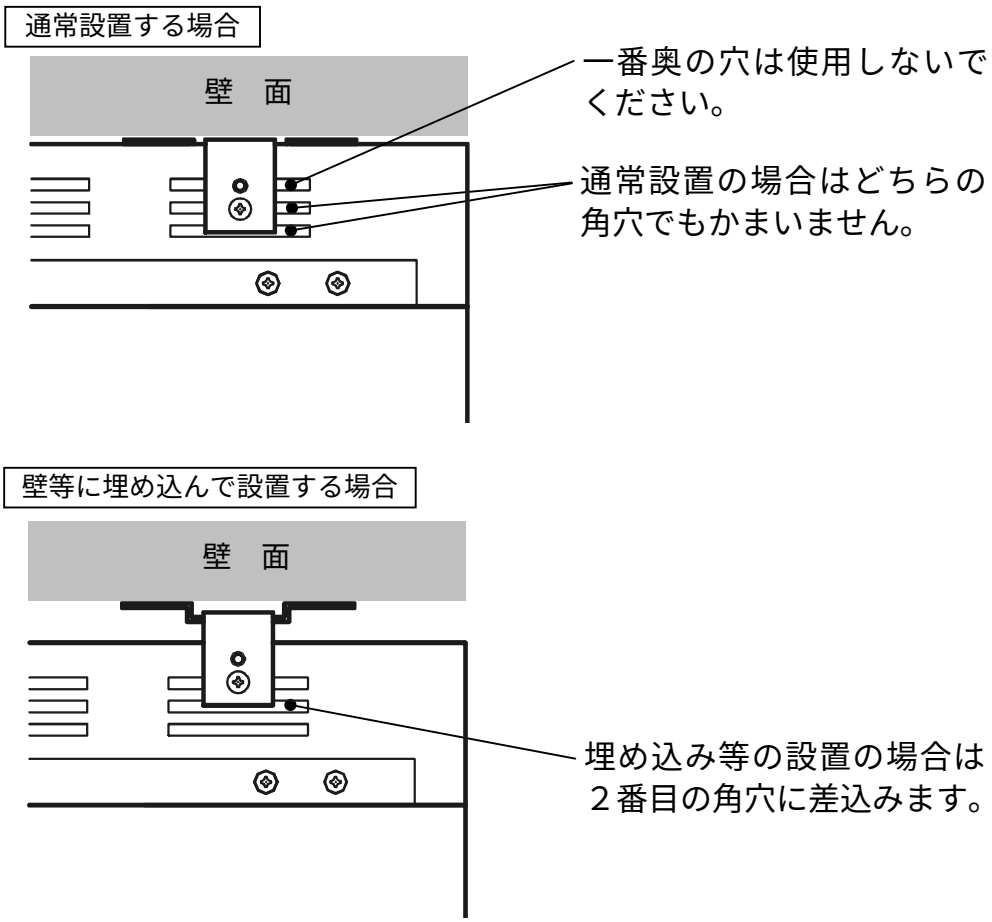
次に、防護カバーを取り外し、あらかじめ転倒防止金具を添付の金具固定用ネジとナットで固定しておきます。
取付完了後は右図の様になります。
防護カバーの取付は P.24 本体の設置（2）項を参照してください。

壁固定金具取付完了図



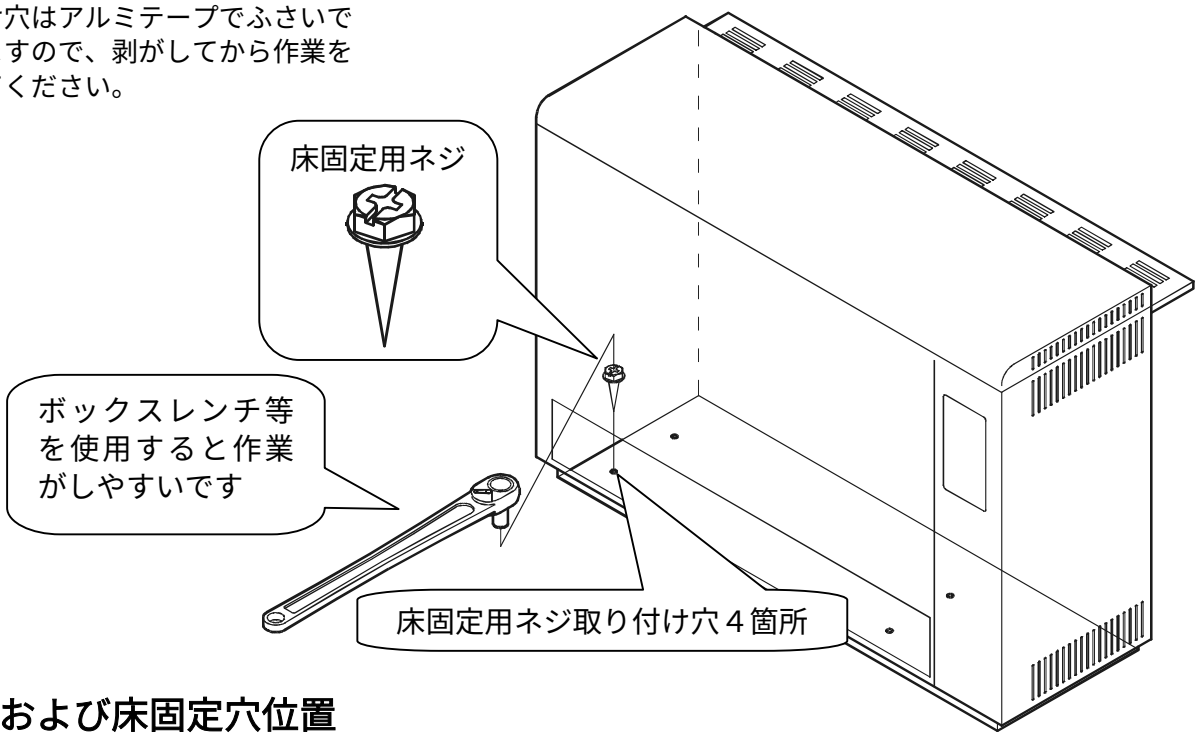
転倒防止金具の差込位置について

転倒防止金具の差込位置については下図をご覧ください。



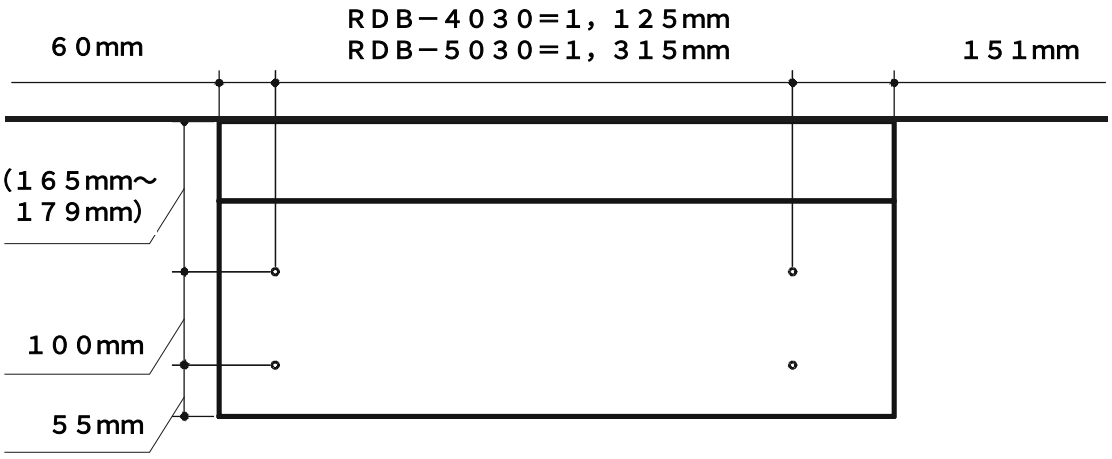
床固定用ネジの取付

添付品の床固定用ネジで本体を床に固定します。ベースの床固定用ネジ取付け穴はアルミテープでふさいでありますので、剥がしてから作業を行ってください。



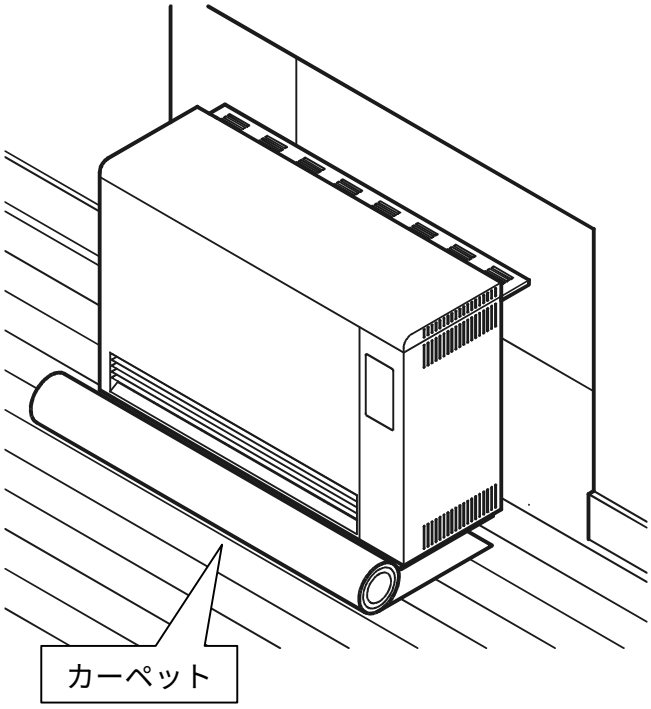
本体および床固定穴位置

床に開ける下穴はφ3.5 が適当です。

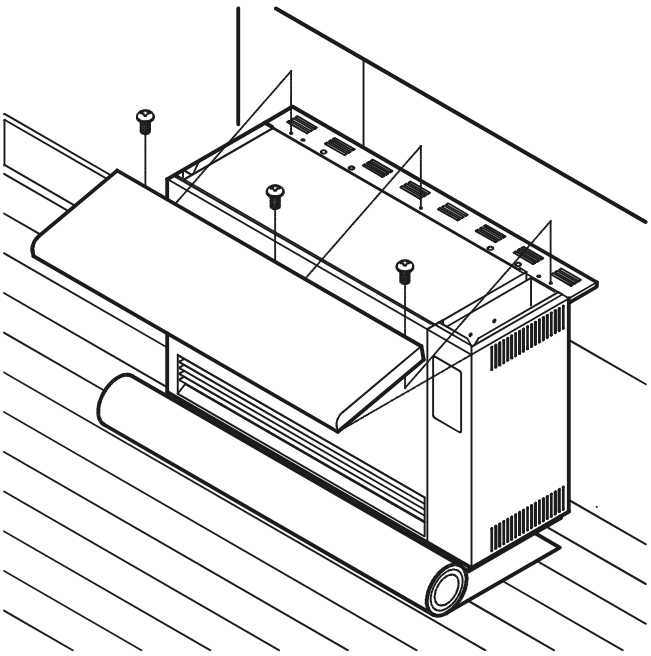


組立準備

（1）本体を設置する場所に置きます。壁・出窓の下などに設置する場合、本体上部と壁との距離が１５０mm以下の場合は、蓄熱ブロックの組込み作業ができません。よってアルディを設置場所の前に置きます。この場合、暖房器の下に予めカーペットなどを敷いておくと（前面から約３／４まで）床に傷つけることなく簡単に押し込めます。



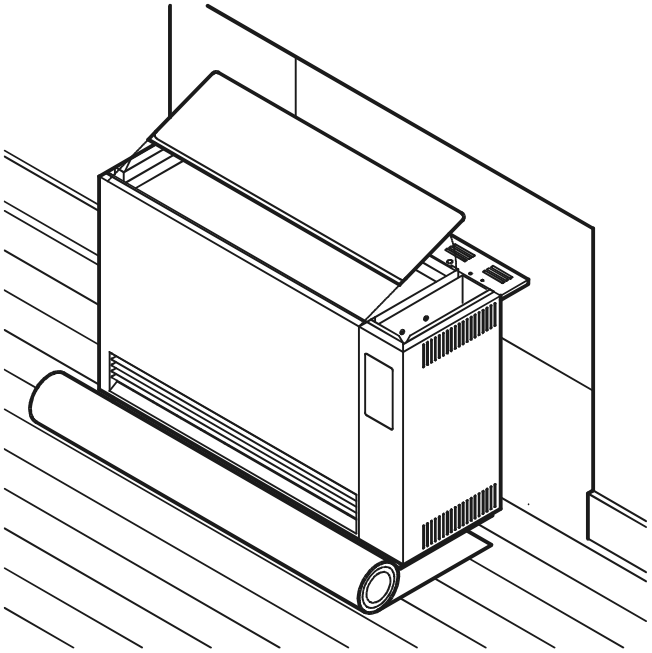
（2）トップカバーを外します
トップカバーを固定しているネジが２本または３本ありますので、外します。次にトップカバーの後部を持ち上げます。
トップカバーサイドの隙間に手を添えて手前に引くと外れます。



ポイント！

トップカバー後端を持ち上げる際、トップカバー・フロントカバーに傷をつけないよう取扱に注意してください。

（3）マイクロサーム断熱材(厚さ２０㎜)
を取り出します。
最初に後端を上に引いて後部を持ち上げます。次に斜め後方に引くと外れます。



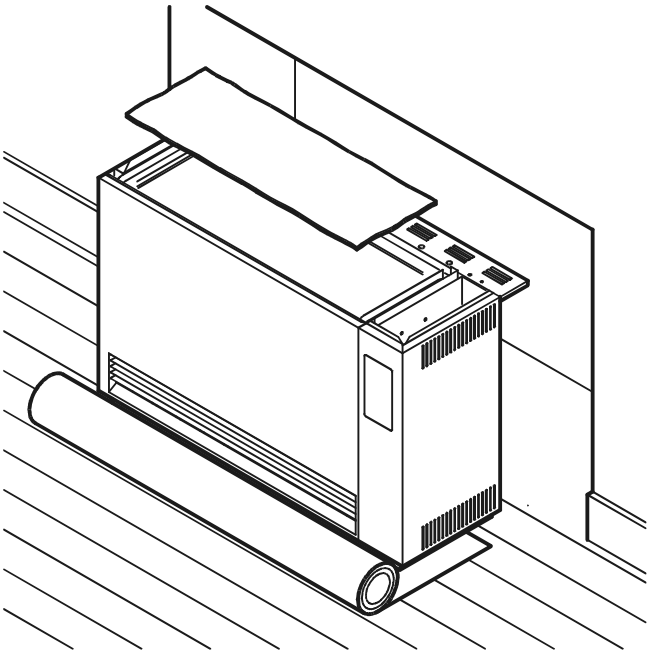
⚠注意

折れたり崩れたりしたマイクロサーム断熱材は絶対に使用しないでください。熱もれしてやけどや火災の原因になります。
また、取付後は隙間が無いか、装填状況を十分確認してください。

ポイント！

①この断熱材組込みが暖房器の性能を左右しますので、工事する際には十分に注意を払って行ってください。
②折れやすい断熱材ですので取り扱いには十分注意してください。
③セラミックファイバー断熱材とマイクロサーム断熱材の取付順番を間違えないよう十分注意してください。

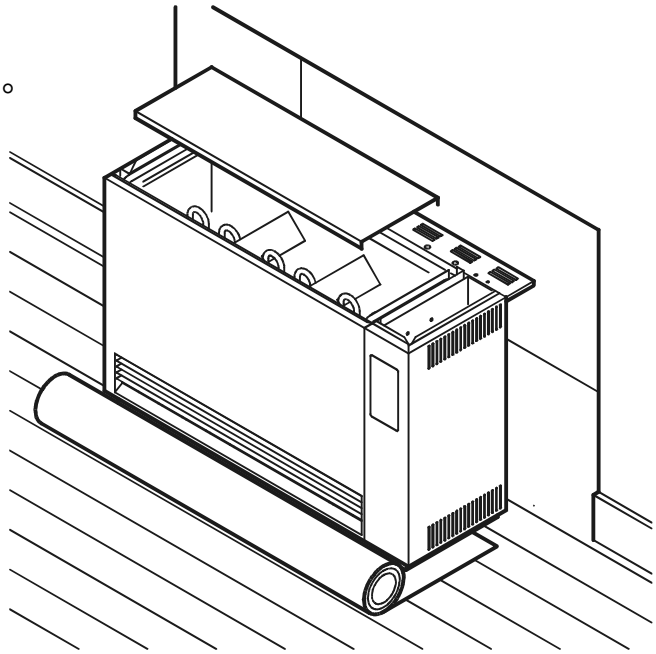
（4）セラミックファイバー断熱材
(厚さ５㎜)を取り出します。
破損しやすいので取り出すとき、
取扱いに注意します。



ポイント！

セラミックファイバー断熱材はマイクロサーム断熱材の保護用です。弱くて破れやすいですが、破れたり千切れたりしても隙間が開かないように入れれば問題ありませんので、そのままご使用ください。

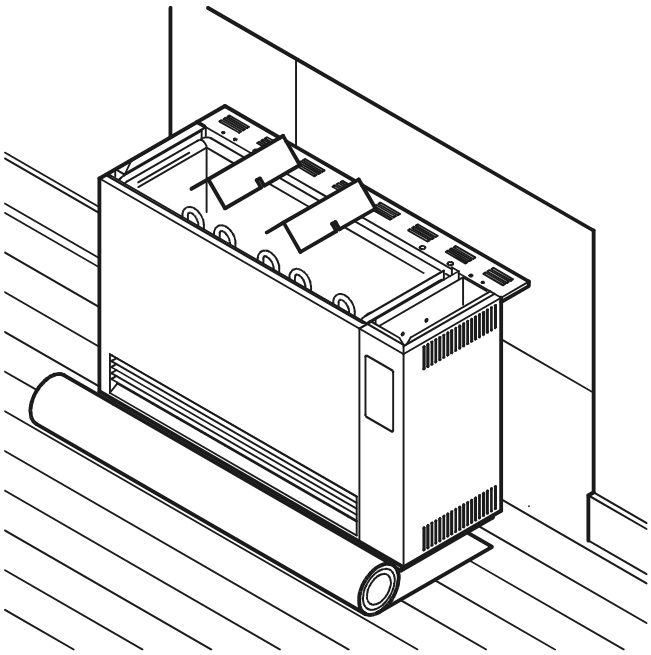
（5）ステンレスパネルを取り出します。
マイナスドライバなどを隙間に差し込んでこじると取り出しやすいです。



⚠注意

ステンレスパネルは角で手を切りやすいので取扱う時には手袋をしてください。

（6）ヒーターを固定している仕切り（ダンボール）を取り出します。
ヒーターを引っ張りあげないよう手で押さえて注意しながら取り出します。

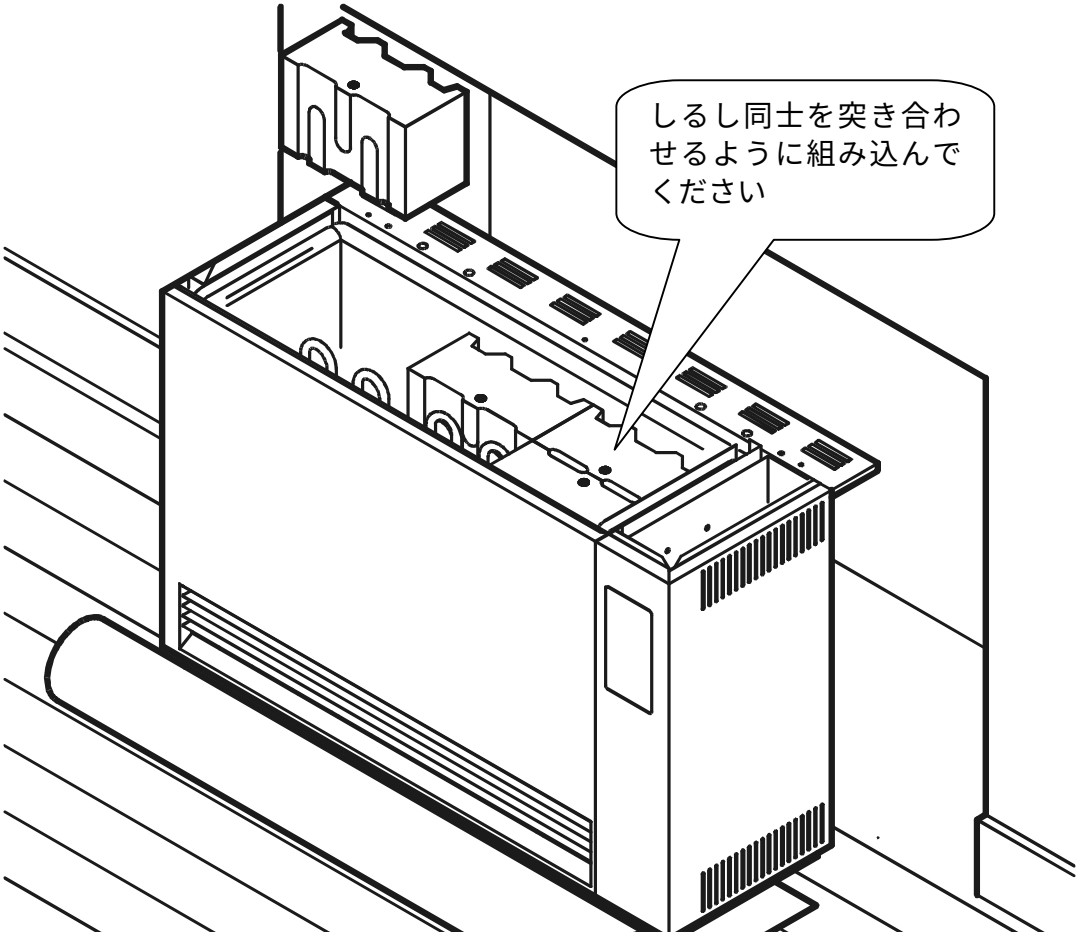


蓄熱ブロックの組み込み

（1）蓄熱ブロックを組み込みます。

⚠注意
●断熱材を破損しないよう、慎重に組み込んでください。 ●ヒーターの前後に隙間ができないように組み込んでください。 やけどや火災の原因になります。

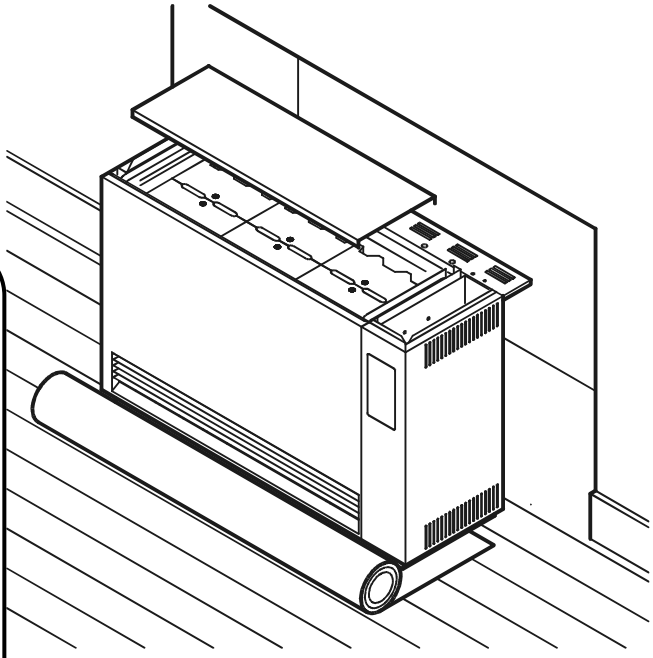
蓄熱ブロックは下図のように表裏・上下があります。
端から隙間ができないよう順序良く行ってください。
蓄熱ブロックの数量は下表のとおりです。



機　　種	ＲＤＢシリーズ	
	４０３０	５０３０
数　量　（　個　）	２４	２８

断熱材の組み込み

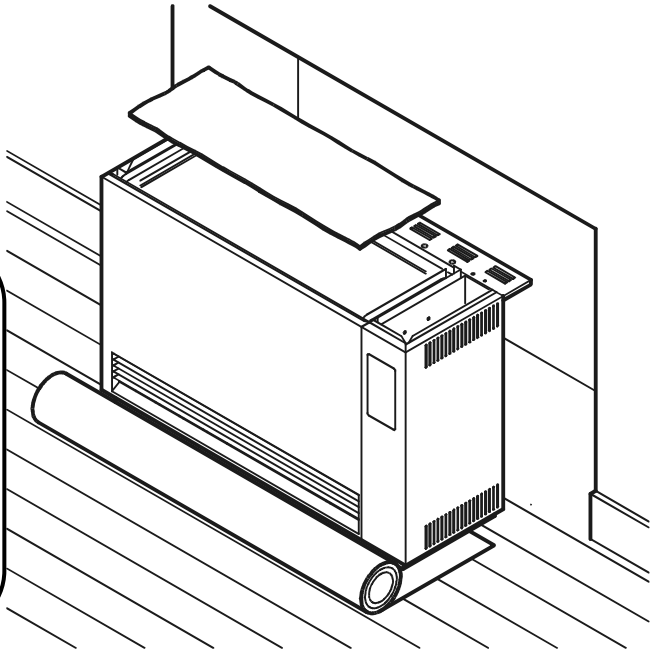
（1）ステンレスパネルを取り付けます。
本体内部のステンレスパネルの外側へ被せる様に取り付けます。



ポイント！

ステンレスパネルを取り付ける際は、周囲のマイクロサーム断熱材が破損しないよう注意しながら組み込んでください。内側のセラミックファイバー断熱材(厚さ５㎜)はマイクロサーム断熱材の保護用です。多少割れたり欠けたりなど破損しても熱漏れしませんので、そのままご使用ください。

（2）セラミックファイバー断熱材を取り付けます。



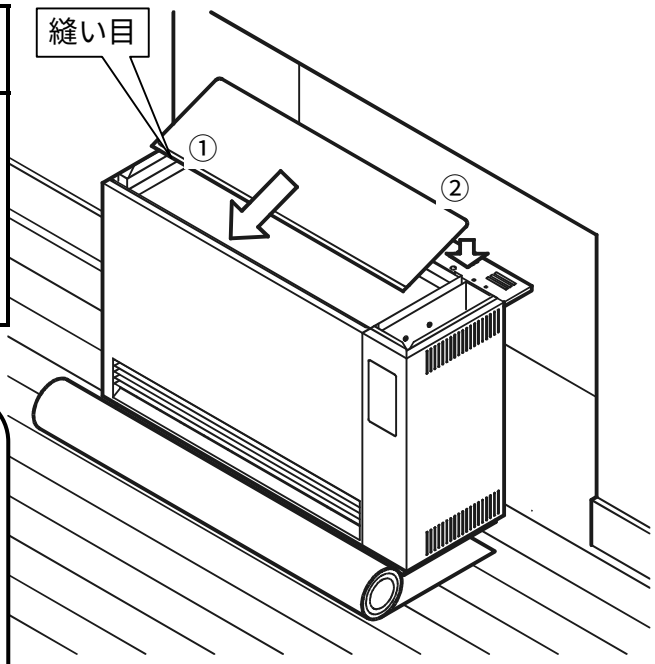
ポイント！

セラミックファイバー断熱材はマイクロサーム断熱材の保護用です。弱くて破れやすいですが、破れたり千切れたりしても隙間が開かないように入れれば問題ありませんので、そのままご使用ください。

（3）マイクロサーム断熱材(厚さ２０㎜)を取り付けます。縫い目を前面側にして前端を差し込みます（右図①）後端を押し込みます（右図②）

⚠ 注意

折れたり崩れたりしたマイクロサーム断熱材は絶対に使用しないでください。熱もれしてやけどや火災の原因となります。
また、取付後は隙間が無いか、装填状況を十分確認してください。

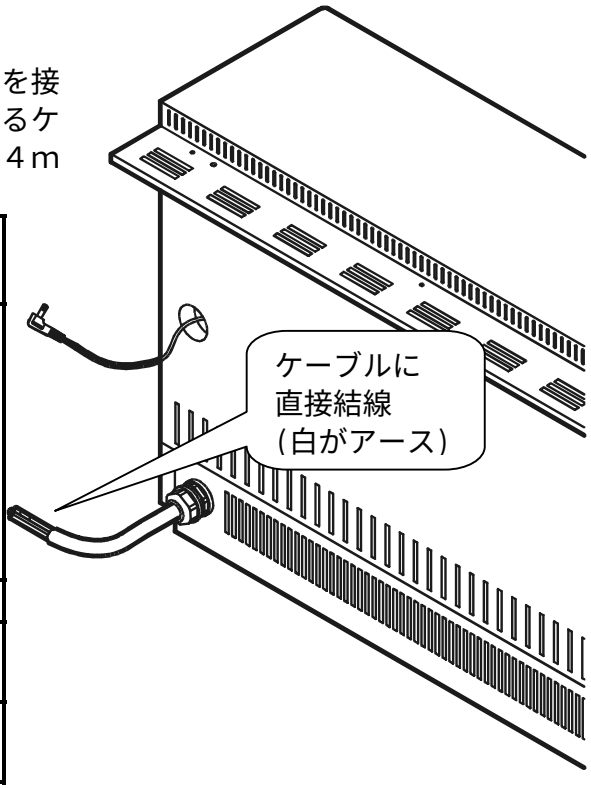


ポイント！

①この断熱材組込みが暖房器の性能を左右しますので、工事する際には十分に注意を払って行ってください。
②折れやすい断熱材ですので取扱いには十分注意してください。
③セラミックファイバー断熱材とマイクロサーム断熱材の取り付け順番を間違えないよう十分注意してください。

電源ケーブルの接続

（1）蓄熱用電源ケーブル（２００Ｖ用)、アースを接続します（白がアースです)。外部に出ているケーブル（ゴムキャブタイヤケーブル　１．４ｍ　３芯）に直接結線します。



⚠ 注意

①配線工事は「内線規定」（JEAC　8001）の「深夜電力機器の施設」にしたがって行ってください。
②接地線は、Ｄ種接地工事を行ってください。接地線は下表の太さをお使いください。

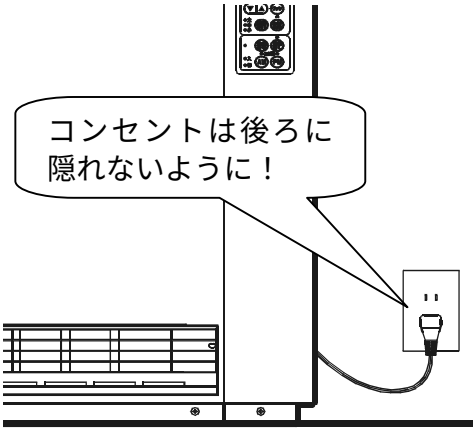
機種	接地線の太さ
RDB-4030	直径 1.6㎜ 以上、または 2㎜²以上の銅線
RDB-5030	直径 2.0㎜ 以上、または 3.5㎜²以上の銅線

（2）制御用電源コード（１００Ｖ用）を接続します。

ポイント！

①設置後は本体の移動が困難になりますので、お客様が清掃したり、夏季などの使用されない時に電源を切れるよう、電源プラグは右図のとおり本体後ろに隠れないようにしてください。

②１００Ｖ、２００Ｖの接続を間違えて通電すると制御基板が破損しますので十分注意してください。



配線工事後の点検

（1）絶縁測定

暖房器本体の２００Ｖコードとアースコード間を絶縁計で測定し、絶縁抵抗値が０．２ＭΩ以上あることを確認します。

⚠注意

①電源１００Ｖ、２００Ｖは必ず切ってください。感電の原因となります。

②絶縁計がプリント基板などの回路に触れると電子機器を壊す可能性がありますので十分に注意してください。

③電気用品安全法に基づく技術基準では５００Ｖ絶縁計で絶縁抵抗を測定し、１ＭΩ以上とされています。
設置直後や長期間休止した暖房シーズン初めには断熱材などが水分を吸って絶縁抵抗値が低下している場合がありますが、１度通電すると乾燥して回復します。（０．２ＭΩ以下まで低下している場合、漏電遮断器が作動する場合があります。このような場合は、十分に乾燥させ、絶縁抵抗が回復していることを確認してから通電してください）

（2）動作チェック

制御用電源（１００Ｖ）を入れて下記の動作チェックを行います。

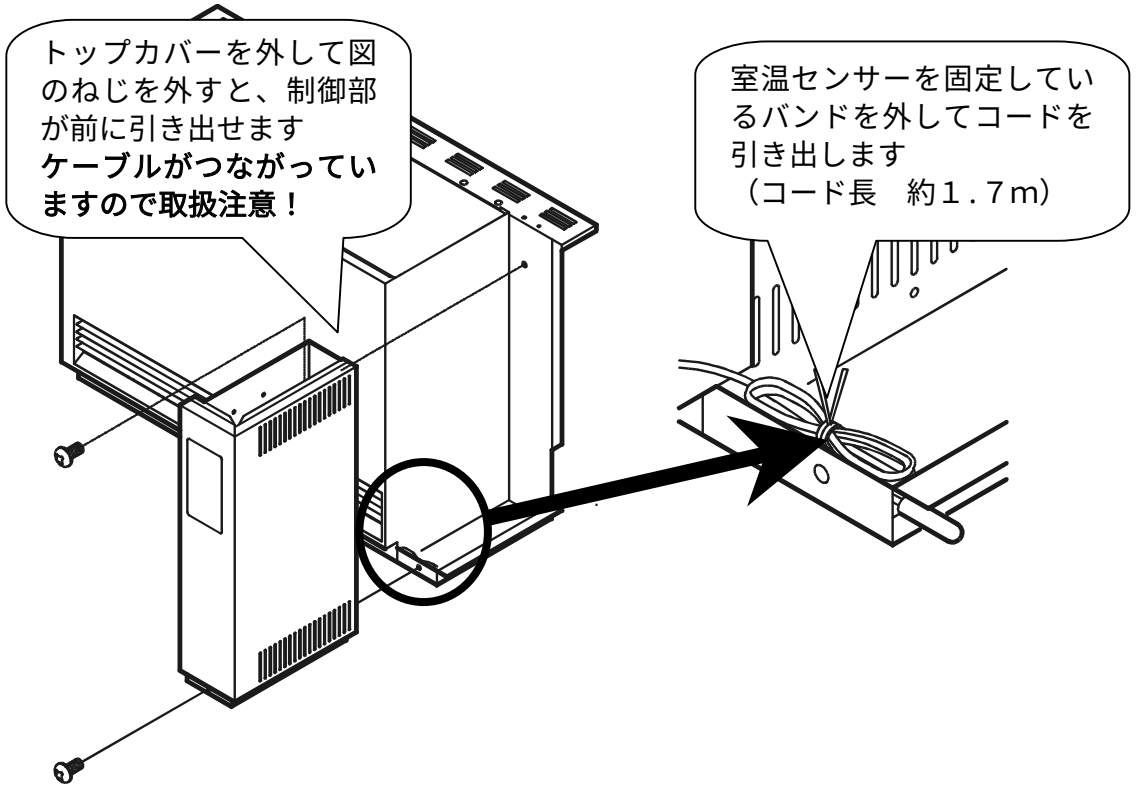
①配電盤の２００Ｖ電源ブレーカーを入れます。
アルディ本体の時刻表示が“００:００“、および蓄熱量設定が「大」～「小」のいずれかに、なっていることを確認します。「切」では電流値の確認ができません。

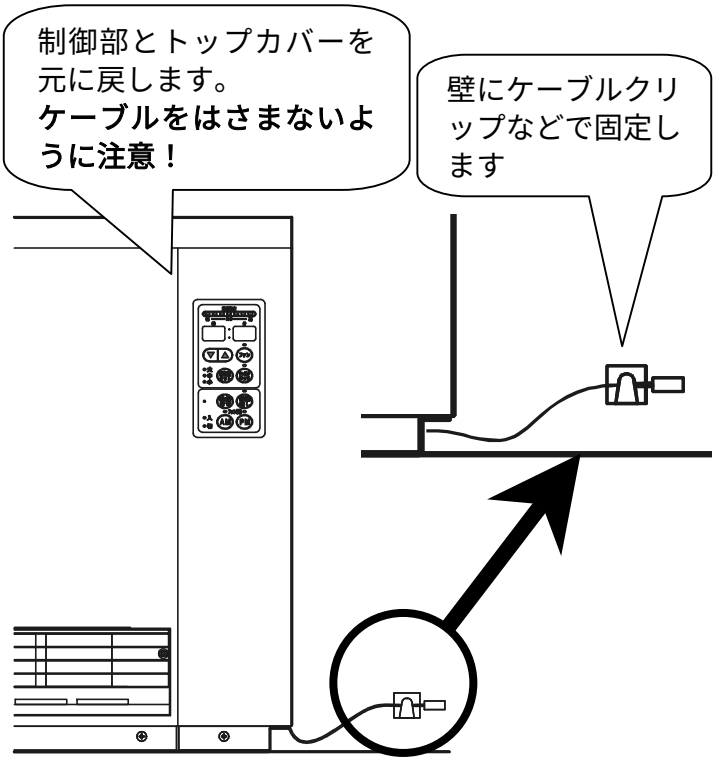
②２００Ｖの電流値を確認します。（下表参照）

機　　種	ＲＤＢシリーズ	
	４０３０	５０３０
電 流 （ Ａ ）	１７～２２	２０～２６

室温センサーの設置

暖房器を壁などに埋め込んで設置する場合など、熱がこもりやすい環境では室温センサーが実際より高い温度を検知してしまい、ファンが回らない場合があります。
このような時は室温センサーを本体から引き出して離れた場所にケーブルクリップなどで固定してください。





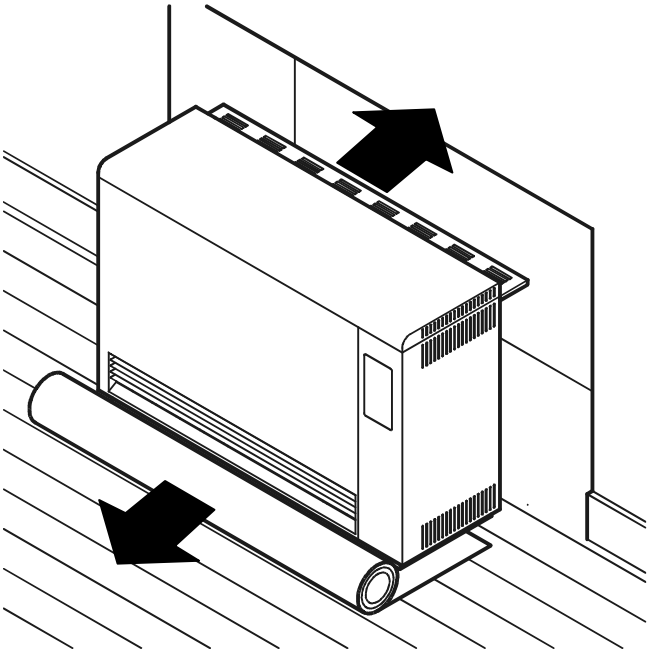
ポイント！

①オプションの壁組込み室温センサーを取り付けるなど、センサーのコードを切断・接続するときはショート・断線しないよう注意してください。動作不良の原因になります。

②窓下などのコールドドラフトを受ける場所はセンサーが低い温度を感知してファンが回りっぱなしになることがあります。熱量不足の原因になりますので注意してください。

本体の設置

（1）本体を所定の位置に設置します。
本体を所定の位置まで押し込み、敷いていたカーペットなどを外します。

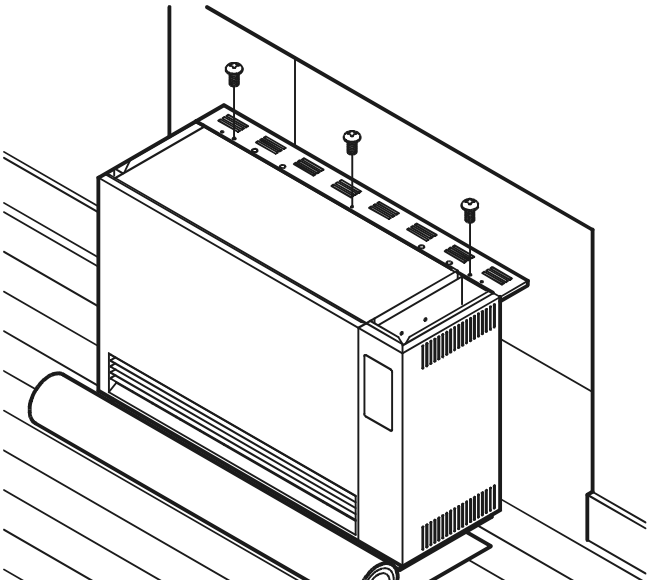


⚠注意

コード類を本体の下敷きにしないよう注意してください。漏電・故障の原因となります。

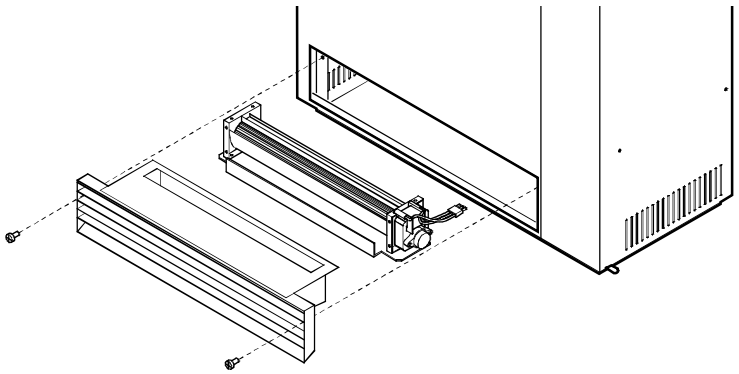
（2）防護カバーを取り付けます。
転倒防止金具を壁取付金具に差し込み、ネジ止めします。

（3）トップカバーを取り付けます。
最初に前端をフロントカバーに引っ掛けます。
次に後端をリアカバーにかぶせるようにして取り付けます。
断熱材がはさまっていないことを確認して、ネジ止めします。



設置後のファン清掃

（1）施工時に、蓄熱ブロックなどのかけらがファン取り付け部に落ちてしまうことがあります。異音の原因となりますので、施工後は下図のようにファンを取り出し、内部を清掃してください。

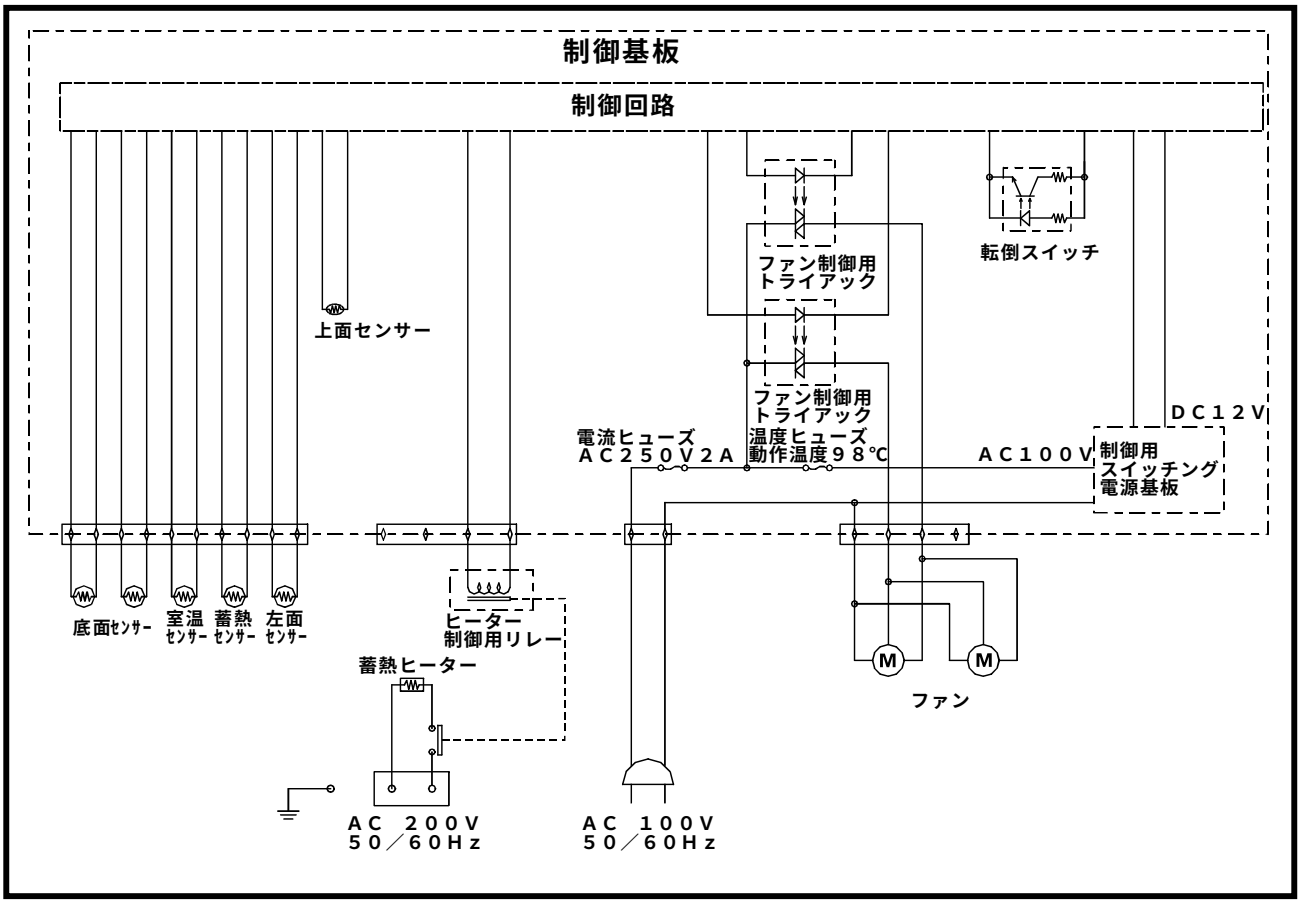


仕　様

ＲＤＢ３０シリーズ		8時間通電機器　ファンタイプ	
型式		RDB-4030	RDB-5030
定格電圧	蓄熱用	単相　AC200V　50/60Hz	
	制御用	単相　AC100V　50/60Hz	
定格消費電力	蓄熱用	4.0 kW	4.6 kW
	制御用	30 W	
有効蓄熱量		99.0 MJ	114.8 MJ
質量	本体質量	65 kg	72 kg
	ﾌﾞﾛｯｸ質量	125 kg	146 kg
	製品質量	190 kg	218 kg
蓄熱ヒーター		660W×6本	660W×7本
消費電力量		576～672kWh	662～773kWh
外形寸法	幅	1336 mm	1526 mm
	高さ	520 mm	
	奥行き	266mm（ 壁固定金具を含んだ場合、壁からの距離は　318～332mm ）	
蓄熱ブロック	材質	マグネシア	
	個数	24 個	28 個
断熱材		セラミックファイバー及びシリカ微粉末断熱材	
安全装置	蓄熱用	サーミスタ検知による蓄熱体温度過昇防止・温度ヒューズ	
	本体用	サーミスタ検知による上面／底面温度過昇防止	
	耐震用	フォトセンサーによる通電カット	
標準機能		転倒防止金具	
		床固定用ネジ	
		通電制御機能	
		送風量切替（弱・強・自動・切）	
		予約暖房機能（午前予約１回/午後予約１回）	
		蓄熱増し機能	
		蓄熱量３段階切替（小～大）	
		チャイルドロック機能	
		停電時設定内容記憶（５年以上）	
		外部室温センサー（サーミスタ　ケーブル１．７m長　標準は内蔵取付）	
		１００Ｖ電源コード付（プラグ付　１．５m長）	
		２００Ｖ電源ケーブル付（キャブタイヤケーブル　３．５mm^2　３芯　１．４m長）	

※　消費電力量：1ヶ月あたり、稼働率６０～７０%の場合

電気配線図



アフターサービスおよび保証

●保証書は必ず「お買い上げ年月日」「販売店名」などの所定事項の記入および記載内容をご確認の上、お買い上げの販売店様からお受け取りください。

●保証期間中（保証期間は保証書に記載してあります）に修理を依頼される場合は、恐れ入りますがお買い上げの販売店様または弊社までご連絡ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店様または弊社にご相談ください。お客様のご希望により、有償にて修理いたします。

●本製品に異常がある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは怪我や　やけどの危険がありますので絶対に行わないでください。

●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 10 年です。補修用性能部品とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。

●保証期間中の修理やアフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店様または弊社にお問い合わせください。

蓄熱式電気暖房器“アルディ”保証書

型　　式		
製造番号		
保証期間		★ お買い上げ日 年　　月　　日から 蓄熱ブロック：５年間 ヒーター　　：３年間 上記以外　　：２年間
★お客様ご記入欄	ご住所	〒
	お名前	（フリガナ） 様
	電話	（　　）

★販売店名	住所・店名・電話 印

見本

★ 印欄に記入のない場合は無効となりますので必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちに販売店にお申し出ください。本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は上記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から上記期間中、故障が発生した場合、本書をご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。

株式会社白山製作所
HAKUSAN MFG
〒357-0022　埼玉県飯能市大字新光１番地
TEL　042-972-4187
FAX　042-972-4062
ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ　0120-103-096
(9:00～17:00 土日祭日を除く)

《無料修理規定》

1. 正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態）で故障した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は本書をご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4. 保証期間でも次の場合には有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買い上げ後の落下や移動による故障および損傷
   (3) 災害、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害や異常電圧による電気制御部品等の故障および損傷
   (4) 本書の提示がない場合
   (5) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
8. 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

〔ご注意〕
●ご使用になる前に取扱説明書を必ずお読みください。